

議会だより



しろさと

SHIROSATO

町の鳥 うぐいす

祝 城里町立常北中学校校舎竣工式



「常北中学校校舎竣工式」

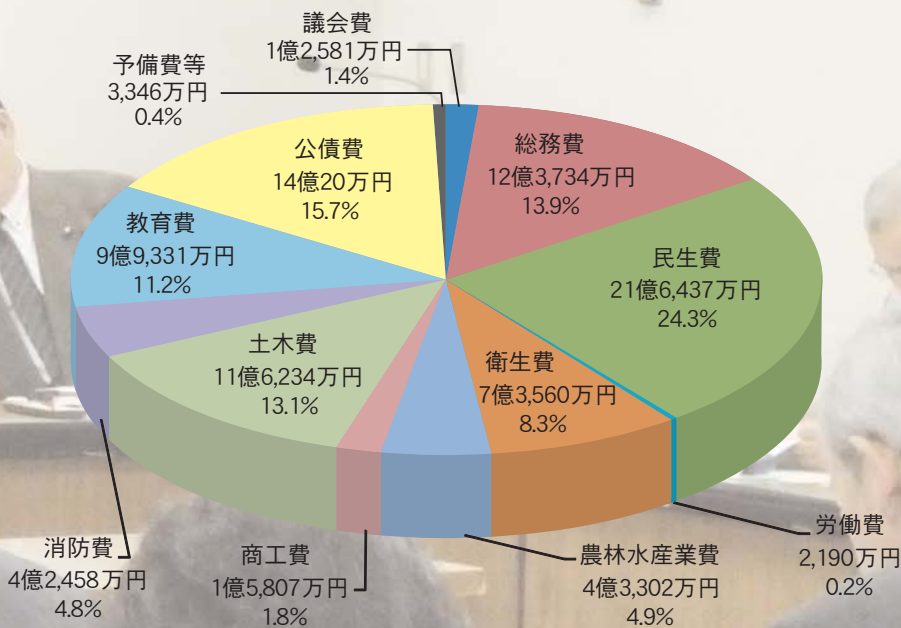
平成24年度予算	
一般会計のうちわけ……………	2
予算特別委員会報告……………	4
3月定例会で決まったこと……………	6
一般質問 町政を問う……………	10
議会の動き……………	14
お知らせ……………	16

計のうちわけ

予算総額88億9,000万円

第1回 議会定例会

歳出（町で使うお金）



定例会は、3月6日から19日の14日間の会期で開催され、条例改正11件、条例制定1件、その他5件、補正予算7件、予算7件、人事案件3件の議案を審議し、すべて原案どおり可決・同意されました。また、陳情1件、報告14件がありました。

町長の施政方針（抜粋）

平成24年度は、各種事業の緊急性や重要性を精査したうえで、行政改革効果で生み出した財源を活用し、平成23年度に引き続き子宮頸がんをはじめヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの3種の新たな接種費助成事業や火葬費補助の拡充、町道池の内片山線や徳蔵倉見線改良事業、観光事業など、公約の実現に向けた施策を展開してまいりました。

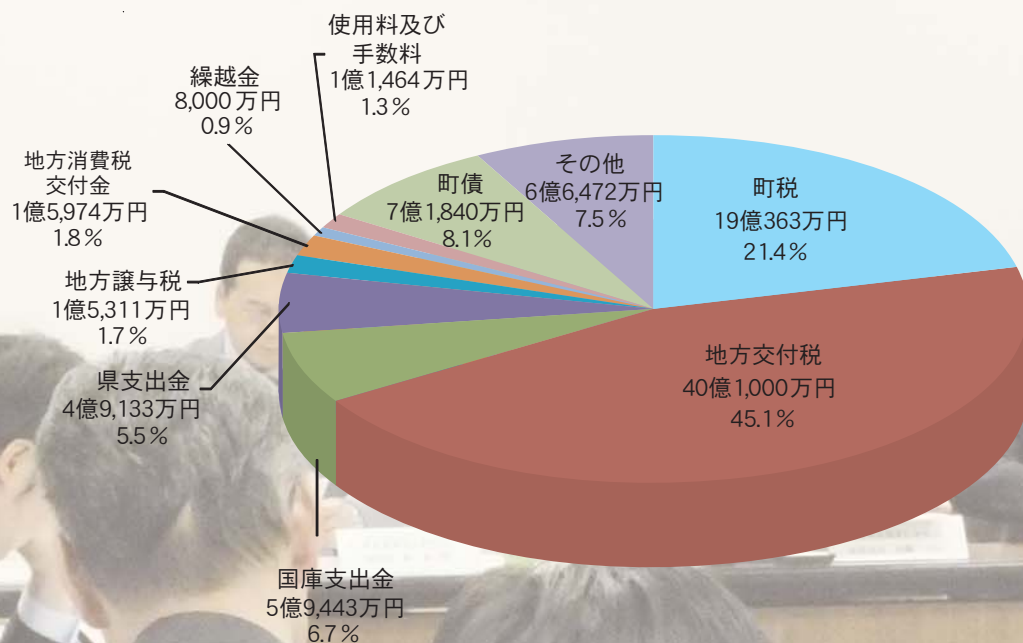
また、小学校再編後の円滑な学校運営、児童にとって安全で安心快適な学習環境を実現するため、の教育環境整備などへも、優先的に予算配分を行い、城里町総合計画（後期計画）に沿った予算編成をいたしました。

本格的に始まる復旧・復興にあたっては、町民・議会・町がこれまで以上に協調しながら、一丸となつて取り組んでいくことが不可欠です。

あらためて町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

平成24年度予算一般会

歳入（町に入るお金）



一般会計の主な事業

事業名	事業費	内容
広報紙等電子化事業	1,615万円	紙媒体のまま保存している広報紙等について、デジタル化し、記事を容易に検索できるシステムを構築
デマンド交通システム運行補助	1,800万円	デマンド交通（ふれあいタクシー）に対する運行補助
特例小児・児童医療費助成（マル特）事業	1,928万円	少子化対策として、医療福祉事業対象外の幼児と中学校卒業までの児童の医療費の助成
敬老事業	1,010万円	75歳以上の方を招待し、敬老会式典を開催。88歳以上の方に敬老祝い金支給
障害福祉サービス事業	2億1,768万円	障害の程度や状況に応じて、在宅支援・日中活動支援・居宅支援の決定をし、障害福祉サービス費を支給
次世代育成支援金	780万円	出生祝金・子育て支援金の支給
こどものための手当事業	3億3,424万円	0歳から中学校終了前までの子どもを対象に支給
保育園運営費委託事業	2億4,745万円	民間保育園入所児童に要する費用の支援
予防接種事業	3,597万円	感染症の予防及び疾病の流行を抑える
生産調整対策補助	3,300万円	転作田及び加工用米への補助
鶏足山駐車場の整備	2,308万円	駐車場・トイレを整備し、登山者の利便を図り、町への誘客を図る。
小学校改修工事	7,032万円	各小学校の改修工事及び工事に係る設計工事監理業務
延長保育事業	123万円	社会への女性進出の増大などによる保育ニーズの多様化に対応し、子育ての支援を図る。
テニスコート改修工事	2,100万円	常北運動公園テニスコート 3面の改修

質疑・答弁

予算特別委員会での主な

第1回定例会初日の3月6日、町長から提案された平成24年度城里町予算（7会計）について詳細に審査するため予算特別委員会が設置されました。

予算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審議を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の3月7日の委員会を開催し、平成24年度一般会計予算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の予算について審議しました。

（一般会計）

歳入

問 ふるさと応援寄附金のPR方法について。

答 ホームページに掲載する。

問 固定資産税で震災による一部損壊以下の一律減税の見込みはいくらか。

答 一部損壊以下に対しては、5パーセントの一律減価を行い約2,700万円位である。

問 やまゆり荘の利用状況について。

答 若干増えつつある。

歳出

問 消防施設で修理・新設のヶ所数及び消火栓の設置ヶ所数は。

答 修理は4ヶ所・新設は1ヶ所、消火栓は5基を予定している。

問 非常用食品の備蓄場所について。

答 防災倉庫に備蓄する。

問 消防団の組織再編について。

答 消防団組織等検討委員会で協議し、了解をいただいた。4月1日から施行していく。

問 土地賃借料について。

答 防火貯水槽・学校敷地等が主なものである。統一の考えはあるが固定資産税評価額の違いによりなかなか統一出来ないのが現状である。

問 事務事業評価の結果を踏まえた予算編成がなされているのか。

答 結果を踏まえて予算編成をした。

問 太陽光発電システムとエコ給水器設置の実績は。

答 平成22年度の実績は、太陽光発電システムは41基・エコ給水器設置は20基である。

問 敬老会について。

答 開催場所はコミュニケーションセンター城里の1ヶ所を考えている。また、バスを出す予定でいる。

（国民健康保険特別会計）

問 診療所で出す医薬品で、ジェネリック医薬品の利用割合は。

答 患者さんの要望により出しているもので、1パーセント弱である。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、

会期中の3月9日の委員会を開催し、平成24年度一般会計予算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の予算について審議しました。

(一般会計)

歳入

問 町営住宅で被災者の受け入れはあったのか。

答 8世帯入居している。特例で1年間無償にて入居している。

問 合併浄化槽設置事業補助の対象地域は。

答 農業集落排水事業・公共下水道事業の事業区域



委員会の審議状況

外を対象としている。
また、区域内で認可が下りてないところも補助する。

問 町内の体育施設やうぐいすの里のグラウンドはインターネットを利用して借りることはできるのか。

答 体育施設においては、借りることはできるが、

うぐいすの里のグラウンド、大桂公園のグラウンド、下赤沢運動広場、塩子運動公園はできない。

歳出

問 水戸ホーリーホック出資金(50万円)で株の購入の経緯は。

答 財政支援ということである。県央地区の市町村長の会議で、応援しようということ、決定となった。

問 ブランド化創出協議会の今の現状は。

答 平成23年度にマス

コットキャラクターの着ぐるみ及び、ステッカーの作成をしたが、品目の決定には至っていない。今後、協議会の中で決定していきたい。

問 平成24年度に企業立地奨励金が計上されていないが。

答 新たな申請と企業立地がなかったため、計上していない。ただ、今後も引き続き推進していきたい。

問 自動体外式除細動器(AED)の正しい使い方の講習や保守管理はしているのか。

答 各施設に設置しており、使用方法については職員が、講習を受けている。保守管理は、毎年行っている。

問 常北高校後援会の補助は、どういうものに使われているのか。

答 海外留学の経費や各部のユニフォーム代等である。

(公共下水道事業特別会計)

問 震災により埋設管や施設に被害が出たと思うが、平成24年度の工事はそれをふまえて発注するのか。

答 国・県から震災に伴った設計指針が出ているので、それをもとに設計に反映していく。



決まったこと

条例改正

▽町特別職の職員で、非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

左記の協議会等の設置に伴う報酬額（日額）の設定

障害程度区分認定等審査会委員

13,000円

障害者地域自立支援協議会委員

3,500円

婦人相談員

8,000円

繁殖牛導入事業運用委員会委員

3,500円

▽町特別職の職員で、常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例の一部改正

町長10%及び副町長5%それぞれの給料の減額

平成25年3月まで

▽教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

教育長5%の給料の減額

平成25年3月まで

▽税条例の一部改正

個人住民税の均等割の標準税率の引き上げ

町民税の分離課税に係る所得割額の特例

東日本大震災に係る雑損控除の特例

▽町立幼稚園授業料等徴収条例

の一部改正

仕事を持つ保護者に対する子育て支援を目的に延長保育事業を実施するための延長保育金の設定

▽介護保険条例の一部改正

平成24年度から平成26年度までの第5期介護保険料の改定

▽公共下水道条例の一部改正

桂処理区の大字御前山の一部の整備が完了し、供用開始になるため

▽公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

桂処理区の大字御前山の一部の整備が完了し、賦課対象区域になるため

▽町営住宅設置条例の一部改正

舟渡団地の解体に伴い、舟渡団地の削除

▽消防団の定員、任免、給与、職務等に関する条例の一部改正

旧町村単位の支団制を廃止し、一元化するため

条例廃止

▽肉用牛特別導入事業基金条例の廃止

肉用牛特別導入事業が廃止となったため

条例制定

▽地域の自主性及び自立性を高

めるための改革の推進を図るため関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

国において、法律が施行されたことに伴い、制定するもの

その他

▽公の施設の広域利用

広域利用に指定する公の施設について、協議を行う必要が生じたため、議会の議決を求めるもの

▽町建設計画の変更

地方債の特例が延長されたことに伴い、城里町建設計画を変更するため、議会の議決を求めるもの

▽町道路線の廃止・認定・変更

廃止される路線

8-1065号線

錫高野塚地内（延長682m）

認定される路線

8-1065号線

錫高野地内（延長237m）

8-1224号線

錫高野地区（延長395m）

変更される路線

0201号線

石塚地内（延長644・18m）

1014号線

石塚地内（延長135・83m）

3月定例会で

平成23年度補正予算

一般会計

①追加補正

2億2,565万円

総額 111億2,966万円に



ホロル君

※大樹スタジオに住む伝説のフクロウ
性格はやさしく、特技は、スタジオに
実をならせること。

歳入の主なもの

個人町民税現年課税分	1,691万円
固定資産税現年課税分	△920万円
地方交付税	5億9,120万円
町たばこ税現年課税分	1,000万円
市町村振興協会交付金	1,925万円
県補助金	8,502万円
基金繰入金	△3億7,290万円
町債	△1億1,710万円

歳出の主なもの

他会計へ	3,856万円
人件費	1,146万円
各基金へ	8,799万円
町開発公社ホロルの湯売店買収費補助金	1,560万円
震災復旧工事費	5,747万円
各小学校工事費	1,209万円

特別会計

6事業特別会計の補正

会計名		補正額	補正後の額
国保	保険事業	7,024万円	24億6,443万円
	後期高齢者医療	△381万円	2億 283万円
介護	保険事業	936万円	15億9,229万円
	公共下水道事業	△2億 750万円	11億8,898万円
	農業集落排水事業	△8,508万円	6億3,225万円
水道事業	収益的収入・支出	△2,134万円	6億5,179万円
	資本的収入	△3,640万円	2億3,462万円
	資本的支出	△3,796万円	4億6,459万円

平成24年度予算

特別会計

6 事業特別会計

会計名		予算額	前年度当初比
国 保	保険事業	24億9,416万円	5.7%
	診療所	2億4,221万円	△6.2%
後期高齢者医療		2億 427万円	△1.1%
介 護	保険事業	15億3,319万円	5.9%
	介護サービス	438万円	5.7%
公共下水道事業		10億8,944万円	△4.0%
農業集落排水事業		2億6,587万円	△55.3%
水道事業	収益的収入・支出	6億6,159万円	
	資本的収入	5億 750万円	
	資本的支出	7億4,140万円	

人 事

▽教育委員会委員の任命同意

任期満了に伴い、次の方の任命に同意しました。

ト 部 徳 也 氏（小勝）
任期

平成24年4月1日から4年間

陳情審査結果

▽「緊急事態基本法」の早期制定を求める
意見書提出に関する陳情

採 択

※意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

議会議務局職員の異動

平成24年4月1日付けで、川村英治書記が下水道課へ異動となり、後任として都市建設課から興野友宣書記が配属となりました。

審議した議案と各議員の賛否

第1回定例会の議案等の表決を賛成は、○、反対を×、欠席は、－で表示してあります。

議 案 名	議 員 名	園部 一	余水 紀夫	三村 孝信	河原井 大介	関 誠一郎	加藤 文夫	阿久津 則男	桐原 健一	小林 祥宏	南條 治	杉山 清	三村 由利子	小松崎 三夫	鯉 秀雄	根本 正典	小 坪 孝
町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
肉用牛特別事業基金条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町立幼稚園授業料等徴収条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町営住宅設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例整備に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公の施設の広域利用に関する協議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町建設計画の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町道路線の廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町道路線の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成23年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
介護保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成24年度一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
公共下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
農業集落排水事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
教育委員会委員の任命同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
監査委員の選任同意		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

三 村 孝 信 議員・・・・・・・・・・ 11P

- ・庁舎建設事業について
- ・教育について
- ・農業について
- ・観光レクリエーションについて
- ・緊急雇用創出事業について
- ・火葬費補助金額の見直しについて
- ・ふれあいサロンについて

南 條 治 議員・・・・・・・・・・ 12P

- ・本庁舎解体工事について
- ・新庁舎建設検討について
- ・東日本大震災の教訓は
- ・物産センターについて
- ・震災後の町道復旧について

加 藤 文 夫 議員・・・・・・・・・・ 13P

- ・自主防災組織化について
- ・職員・健康管理規律について





み ぶら たかのぶ
三村 孝信 議員

庁舎建設の財源は。

〈町長〉合併特例債と基金の取り崩しで。

三村 庁舎建設事業について財源はどのような計画があるのか。特例債を活用するの何う。また、補助金は期待できるのか。

町長 合併特例債による起債と基金の取り崩しによる資金調達、また一般財源を考えている。国・県補助金については、事業としては、創設されてないが総務省には、先月要望活動を行ってきたところである。

三村 本庁舎建設地は、どこを計画しているのか。

総務課長 建設検討委員会においてお話し、今解体中の庁舎、さらには、保健センター、また、コミュニティセンター、城里が存在するエリア内で理解をいただいている。

企画財政課長 庁舎建設に使える基金の残高は、平成24年度当初予算編成後の残高で、財政調整基金が16億9,500万円、公共施設整備基金が6億9,500万円である。

5時までの延長保育をさらに延長できないか。

三村 常北幼稚園の延長保育について、今回実現され、非常に立派な判断だったと思うが、今の保護者の就業形態が派遣、臨時等いろいろな形態があるので、今後5時という終業時間をさらに延長できないか。

教育長 平成24年度から延長保育を実施

小学校再編後の状況は。

〈教育長〉事故もなく活気のある児童たちが充実した生活を送っている。

三村 小学校再編後の学校の運営等に問題は、現在の状況、問題点・改善点等はなかったのか。

また、中学校の団体競技の部活動において少人数のため支障を来しているというのを聞いていたが、合同チームの場合、大会等で制約があるのと聞いているが、そのことについてどう

考えているのか。

教育長 現在各学校とも事故もなく活気のある児童たちが競争意識も動いて、充実した生活を送っている。保護者からも再編をしてよかったという声も聞いている。課題としては、編制によって地域と新しい学区のつながりやや希薄になるかなというのを心

していくことになった。料金や時間については、近隣の自治体の料金を参考に算出した。また、さらなる延長保育については、今後の御父兄の方々と相談しながら、よりよいふう展開していきたいと考えている。

受け入れの経過は。

三村 新年度から石塚小学校へ障害者の受け入れを決定したということ、予定

算化するまでの経過は。

教育長 ご両親等の非常に強い希望があり、数十回にわたって担当者が相談し、今回はスロップ等のできる範囲の予算措置をとった。また、6年間という期間があるの、できるだけ検討していきたい。

町の農業について。

三村 これまでの町の新規就農者の実

績等・今後の取組みについては。

町長 県から認められた新規就農者が三十余名数え、現在2名の方が町内の農家において研修中である。既に中核農家として活躍されている就農者もあり、認定農業者も2名誕生している。

三村 農産物のブランド化・六次産業化ということで、町としてももつと力を入れてもらいたい。今月開催される協議会で、桂地区の「レッドポアロー」・七会地区の「ななかいの里コシヒカリ」を推奨品としてブランド化を図ってまいりたい。六次産業について、これから農協等の協議をしながら、活発に取り組んでいきたい。

そのほかの質問

- ・物産センターについて
- ・ネットスーパーについて
- ・ホールの湯について

本庁舎解体工事の契約の流れは。

〈町長〉状況を熟知している業者に発注することが最善と判断し契約した。



なんじょう おさむ
南條 治 議員

南條 本庁舎解体工事随意契約の流れと着工は。
町長 昨年3月に望楼取り壊し工事を行った。状況を熟知している戸田建設に発注することが最善であると判断。請負業者選考委員会に諮り発注した。
南條 インターネットの公表は。
総務課長 随意契約については、各課に任せているのが現状。今後前向きに検討していく。
南條 建物内にアスベスト使用箇所はないのか。
町長 マニュアルに従い処理計画を作成、適正に処理した。

新庁舎の立地場所は。

〈町長〉検討委員会でエリア内建設と
いうことで理解をいただいた。

南條 新庁舎建設検討の進捗状況は。

町長 先月までに委員会を4回開催。基本方針、建設場所概算で床面積等理解をいただいた。

東日本大震災の教訓としての取り組みは。

〈町長〉町全域を対象とした訓練は
行っていない。

南條 東日本大震災の教訓・町の取り組み・予算は。
町長 十分な情報を住民に伝えられなかった。今後の教訓として生かさなければならぬ。

南條 防災訓練の予定は。特に幼稚園・小学校・中学校は。
町長 町全域を対象とした訓練は行っていない。実施計画と町民参加に対する理解や経費も必要。取り組みなのが現状。

物産センターの運営状況は。

南條 物産センター13施設の運営状況は。

町長 「かつら」約3千万円。「山桜」2千7百万円の減少。東京電力に対し損害賠償請求。「かつら」5百45万円、「山桜」5百42万円支払われた。常北物産セン

震災後の町道復旧は。

南條 震災後の町道復旧と今後の進め方は。
町長 100路線について復旧。年度内に85%を完了見通し。しかし余震により路面陥没等が新たに発生。平成24年度38路線の復旧工事を予定。

総務課長 平成24年度災害対応予算として1億51万6千円。災害復旧費平成23年度繰越明許分4億8千310万6千円の予算措置。
教育長 震災で児童生徒にケガがなく日頃の訓練の成果であると思う。小学校で4〜6回。中学校で3回。通学路危険箇所把握と緊張をもつて対応。万全を期していきたい。

ターは初年度から赤字計上。過去17年の累積が4千5百44万7千円。早急に抜本的対策が必要。整理解散したいが非常に難しい。開発公社へホールの湯売店買収費補助金として1千5百60万円計上。新たな役員体制で民間経営方式による運営が最善と考えている。



かとう 加藤 議員
ふみお 文夫

今後の大地震に対して町では、どのような対策をしているのか。

〈町長〉 12の自主防災組織結成され、研修や訓練等を行っている。

加藤 東日本大震災が起き、はや一年が過ぎ、テレビでは大きな地震が4年以内、神奈川・千葉県内には震度7が来るという報道の中で、町ではどのような対策をしているのか。

町長 自主防災組織は、住民一人一人がみずからの命を守る。町では、自主防災組織の重要性を唱え、行政区を単位とした組織化を推進して、12の自主防災組織が結成され、それぞれの研修や訓練等活発な活動を展開しているところである。

猟友会の無線の仲間の確認、飲料水の確保できる地区、避難場所への危険通路の有無確認及び変更の見直しの必要性はないのか。

町長 大規模な災害が発生した場合、行政機能に限界が生じ、十分な活動ができないことが想定される。高齢者など災害弱者に対する支援など、誰よりも早く救助の手を差し伸べられるのが、地域の皆様方である。引き続き区長会議の席上において、全町全行政区に自主防災組織が設立され所期の目的を達成されるよう区長にお願いする。

加藤 役場職員、執行部との電話連絡が取れない中、消防団無線、ハム無線、

職員の健康管理はできているのか。

〈町長〉 2年前から職員を対象としたメンタルヘルスの研修を実施。

加藤 職員の長期休暇がみられるが健康管理はできているのか。

総務課長 職員に対し健康診断の結果通知後に、医療機関を受診したかどうかの診後調査を実施し、職員の受診状況の把握に努めている。

町長 プラスチック製のコンパクトなものではなく、当面は現在の名札を着用していく。

町長 職員の健康管理は法令により実施が義務づけられている。嘱託職員を含む全職員を対象に年一回実施している。メンタルヘルスに関しても2年前から職員を対象とした研修を実施している。

加藤 名札の着用が見られないが、名札を左胸につけてはどうか。



議会の動き

茨城県町村議会議長会より本町議会議員が受賞

2月14日（火）茨城県市町村会館で開催された町村自治功労者表彰式において、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、2名の議員が受賞されました。

茨城県町村議会議長会より

杉山 清議員

南條 治議員



杉山 清議員

南條 治議員

町村議会議員自治研究会の開催



2月22日（水）、茨城県市町村会館にて、開催されました。

県内12町村の議会議員が約111人参加し、講師としてジャーナリストの富坂 聡氏を迎え、「中国の国家戦略と今後の日中関係について」の講演が行われました。

議会人事関係

第1回定例会の3月19日、常任委員会、議会運営委員会委員及び各種一部事務組合議会議員の選任、並びに農業委員会委員の推薦、監査委員の同意などの議会人事が行われました。

委員会・各種一部事務組合議会議員等構成

総務民生常任委員会

委員長	関 誠一郎
副委員長	桐 原 健 一
委 員	鯉 渕 秀 雄
	小松崎 三 夫
	三 村 由利子
	南 條 治
	加 藤 文 夫
	余 水 紀 夫

教育産業常任委員会

委員長	杉 山 清
副委員長	河原井 大 介
委 員	小 坏 孝
	根 本 正 典
	小 林 祥 宏
	阿久津 則 男
	三 村 孝 信
	藺 部 一

議会運営委員会

委員長	南 條 治
副委員長	三 村 孝 信
委 員	小 坏 孝
	鯉 渕 秀 雄
	三 村 由利子
	杉 山 清
	関 誠一郎

議会広報委員会

委員長	三 村 由利子
副委員長	藺 部 一
委 員	小 林 祥 宏
	桐 原 健 一
	加 藤 文 夫
	関 誠一郎
	河原井 大 介

城北地方広域事務組合議会議員

旧
藺 部 一
鯉 渕 秀 雄



新
南 條 治
河原井 大 介

笠間地方広域事務組合議会議員

旧
河原井 大 介



新
藺 部 一

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

旧
阿久津 則 男



新
小 坏 孝

城里町農業委員会委員（議会推薦）

旧
三 村 由利子



新
加 藤 文 夫

城里町監査委員（議会の同意）

旧
鯉 渕 秀 雄



新
阿久津 則 男

議会を傍聴してみましよう！

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。どんな計画があつてどのように進んでいるのだろうか。みなさんに身近なことです。

どなたでも傍聴できますので、ぜひ一度議会の傍聴にお出かけください。



定例会会場

傍聴者報告

第1回臨時会(1月17日開催)

0人

第1回定例会(3月6日～19日まで開催)

9人

次回の定例会は6月12日からの予定です。

(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111 (内線 302)

編集後記

春光うららかな季節を迎え、野に山に花が咲き乱れ、小鳥のさえずりが軽やかに耳に響く頃となりました。

さて、3月の第1回議会定例会においては、今後の町民の生活に関わる平成24年度の予算を、議会議員は町民の代表であるという責務の元、1円たりとも無駄にしていけないと決意を胸に慎重審議を重ね、全会一致で可決したところであります。

議会人事改選があり、新たな広報委員のメンバーとなり、今までの良いところをのびし、悪いところは修正しながら、町民の皆様に分かり易く、親しみのある広報紙を発行していきたいと思っております。これまで以上の御指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会委員一同

議会広報委員会

委員長 三村 由利子
副委員長 小部 祥一
委員 加藤 健一
河原 大介

関 誠一郎
加藤 文夫
小部 健一
河原 大介